

# 全国有機農業の集い 神奈川大会

—第38回日本有機農業研究会全国大会・総会—

## 有機でひらこう！ 日本農業と食の未来を

日時 2010年3月6日(土)～3月7日(日)

会場 神奈川県立 かながわ労働プラザ Tel. 045-633-5413

宿泊：東横イン横浜スタジアム前 Tel. 045-228-0045

**1日目★3月6日(土)** 受付開始 12:00 大会開始 あいさつ 13:00

**基調講演** 13:30～14:45 かながわ労働プラザ多目的ホール

**「日本農業の進むべき道」** 講師：鈴木宣弘さん

**分科会** 15:30～18:00

分科会詳細は裏面

**懇親会** 18:30～20:30

**新規就農の語らい** 20:30～21:50

**2日目★3月7日(日)** 受付開始 9:30

**記念講演** 10:30～12:00

**「農薬と人体被害の実態」**

ネオニコチノイド系農薬はカメムシ防除や果樹園などで急速に使用が広がっています。日本におけるミツバチ急減の元凶として有力視されるばかりでなく、作物に吸収され、人に対しても深刻な被害が出ています。おふたりの医師は中毒患者の被害実態を明らかにし、EU基準に比べて農薬にあまりにも甘い日本の現状に強い警告を発しておられます。

**種苗研修会・種苗交換会** 13:30～16:30

- ・自家採種と有機農業(岩崎政利さん・林重孝さん)
- ・有機農業における種苗調査報告(今井優子さん)
- ・自家採種種苗の説明(種苗提供者)

※種苗交換会に提供する種苗は、説明文を付けて小分けしてください。

**種苗研修・交換会に出席しない人のプログラム**

- ① 操体法
- ② 映画上映「みんな生きなければならない」
- ③ 横浜ウオーク
- ④ 平和展示室と鎌倉めぐり

講師：

あおやま よしこ  
**青山美子**さん

青山内科小児科

たいら くみこ  
**平久美子**さん

東京女子医科大学  
東医療センター麻酔科



会場：神奈川県立 かながわ労働プラザ

〒231-0026 横浜市中区寿町1-4

宿泊：東横イン横浜スタジアム前 本館/新館

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町205-1

後援：神奈川県、神奈川県消費者団体連絡会、農林水産省

問合せ：神奈川大会実行委員会 NPO法人日本有機農業研究会事務局

Tel. 03-3818-3078 Fax. 03-3818-3417 E-mail info@joaa.net URL hppt://www.joaa.net

## 第1分科会 ● 有機農業の<sup>わざ</sup>技を語り合う

座長：大平 勝 (大平農園)

発表者：林 重孝 (林農園)、館野廣幸 (館野農園)

土づくりから始まる野菜づくりについて林さんに、館野さんには稲づくりについて話題提供していただき、質疑応答その他、皆で語り合います。

## 第2分科会 ● 畑から考える平和と共生

座長：小口広太 (おぐち自給農園)

発表者：勝保 誠 (明治学院大学国際部教授)、丑久保完二 (ネパーリ・バザー副代表)、島岡博子 (横浜共同購入の会代表、あーすぶらざ展示ボランティア)

地球レベルで起こっている貧困、飢餓、格差、紛争などは私たちの暮らしと決して無関係ではありません。現場からの報告をもとに、人々がつながり、生命を大事にする共生社会を築いていくための暮らし、社会・経済システムのあり方について一緒に考えましょう。

## 第3分科会 ● 都市生活者と有機農業

座長：相原成行 (相原農場)

発表者：近藤勇機 (農業)、松田ゆり (カフェ経営)、石田周一 (地域作業所グリーン所長)、中原茂樹 (あしがら農の会)

生活者と関わりを持つ有機農業者、有機農業者と関わりを持つ生活者の方にお話ししていただきます。実践をしている方々のお話の中からヒントになることを拾い出し、皆さん自身の実践に生かしてほしいと思います。

## 第4分科会 ● 産む力

### — 食べ方と暮らし方のかかわりの中で

座長：田中 信子 (横浜共同購入の会)

発表者：横田裕美 (はぐくみ自然農園、助産師)、柳谷 朋子 (わらしべ農園)、大津綾子 (マナ農園)

私たちの実生活の中で、いのちを産み育てる営みとしての妊娠・出産・育児において、またそれにとまなう女性のからだへの配慮において、矛盾を感じたり悩んだりすることはないでしょうか。自然の営みに沿う食べ方・暮らし方をしながら妊娠・出産・育児に向き合う有機農業者の方々や助産師の方の体験をお聞きして、お集まりの皆さんとともに語り合う時間にしましょう。老若男女を問わず、関心のある方はぜひご参加下さい。

## 第5分科会 ● 一楽思想とこれからの「提携」

座長：関塚 学 (関塚農場)

発表者：並木芳雄 (並木農園)、今 道代 (今ファミリーファーム)、若島礼子 (安全な食べ物をつくって食べる会)、浅井まり子 (食生活研究会、地元の農業を考える会)

有機農業の先駆者が行ってきた「提携」とは何か、そして、現在行われている「提携」はどういう形でしょうか。過去を見直し、現在を見つめ、未来の有機農業はどうあるべきか。明るい有機農業となるように共に考えましょう。

## 第6分科会 ● 森・里・海の循環と腐植

座長：魚住道郎 (魚住農園)

発表者：西田雄三 (金沢医科大学総合医学研究所)

うつ病・キレル子どもは神経伝達物質のセロトニン不足であることが多く、これには鉄イオンときちんとした食事が必要。他方、過剰な鉄イオンはがんを引き起こします。また、マンガン、アルミニウムが酸性雨でイオン化すると鉄イオンの動きを阻害します…「西田鉄学」と有機農業の関わりを学び、自然環境と腐植を考えます。

## 第7分科会 ● 工業的農業から有機農業へ

### — 「種子」から見る

座長：安田節子 (食政策センタービジョン21)

発表者：生井兵治 (筑波大学農林学系元教授)

工業的農業のもとで「種子」はどう変えられてきたか？ ハイブリッドや雄性不稔による品種改良、自殺種子の開発まで、また遺伝子組み換え作物がもたらす遺伝子汚染とはどういうことか？ 種の壁とは、また受粉の精妙なメカニズムのことなど解説いただきます。「種子」を通して農業のあり方を考え、話し合います。

## 第8分科会 ● 食農教育の実践

座長：松沢政満 (福津農園)

発表者：澤登早苗 (恵泉女学園大学大学院准教授)、窪川典子 (織座農園)

市場経済の進展に伴って若年世代の仕事が極端に減少したり、人間性の喪失が大きな社会問題となっています。これらの諸問題を解消し、未来を展望する社会基盤として、「小さい有機農業」の果たすべき役割は大きい。「農」のもつ教育力をテーマに、有機農業の意義やこれからの方向性を議論・探求します。

## ■ 参加費

- ①全日程参加 (大会：1日目～2日目、懇親会、宿泊：客室シングル) 16000円
- ②全日程参加 (大会：1日目～2日目、懇親会、宿泊：客室ツイン) 14000円
- ③全日程参加 (第1日目～第2日目)、懇親会参加、宿泊なし 9000円
- ④全日程参加 (第1日目～第2日目)、懇親会参加なし、宿泊なし 4000円
- ⑤1日のみ参加 (第1日目のみ、又は第2日目のみ参加) 2000円
- ⑥懇親会のみ参加 5000円

※宿泊の部屋数は、シングル部屋は80室、ツイン部屋は、30室 (2人×30=60人) 先着順に受け付けます。事前に部屋の空きを事務局に確認のうえ、早めにお申込みください。

## ■ 申込方法

振込用紙に上記の番号と内訳、男女別、希望する分科会番号を記入のうえ合計金額を締切日までにご送金ください。

【ゆうちょ銀行 口座番号】00240-8-53226

【口座名称】神奈川大会実行委員会

## ■ 申込締切り 2月15日

※参加申込みを取り消す場合は2月25日までに、大会実行委員会窓口の日本有機農業研究会事務局にご連絡ください。それ以降の取消は参加費の払い戻しができません。

## ■ 会場への交通案内など

### 神奈川県立かながわ労働プラザ

1. 東京駅から京浜東北・根岸線で「石川町駅」下車。中華街口 (北口) 徒歩3分。
2. 東海道新幹線からは、新横浜駅でJR横浜線に乗り換え、横浜駅で根岸線に乗り換えて「石川町駅」下車。
3. 車の方で東横インに宿泊の場合は、チェックイン前から駐車できます。

労働プラザにも駐車場があります。

いずれも有料ですが、東横インの方が割安です。

### 宿泊：東横イン横浜スタジアム前

1. 次のいずれの駅からも徒歩5分  
JR根岸線「関内駅」、又は「石川町駅」(北口)  
横浜市営地下鉄「関内駅」  
みなとみらい線「日本大通駅」

2. 契約駐車場有：先着90台

16：00～翌日10：00 800円

それ以外の時間は1時間200円 (上限1500円)、1日上限2300円

3. チェックイン前、チェックアウト後の荷物の預かり可能です。
4. 朝食はおにぎり・味噌汁、パン・コーヒーから自由に選べます。